

H26. 5. 3

増える逆流性食道炎



長尾和宏 (ながお・かずひろ)
 東京医大卒業後、大阪大第二内科入局。平成7年、尼崎市で「長尾クリニック」を開業。外来診療から在宅医療まで「人を診る、総合診療を目指す。医学博士。近著「平穏死・10の条件」「胃ろうという選択、しない選択」はいずれもベストセラー。関西国際大学、東京医科大学客員教授。55歳。

今日から8回、よくある胃腸病について、私なりに解説してみます。私は「なんでも屋」を自認していますが、専門といえは実はこの領域です。「胸やけ」や「酸っぱいもの」が上がっている」といった症状を訴える方が増えていきます。その多くは逆流性食道炎（GERD）です。そもそも私の学生時代の教科書にはこんな病気が載っていませんで

特効薬の前に食生活改善を

ば、内視鏡で診て明らかに食道が荒れていれば、中等度、重症の逆流性食道炎といえるでしょう。治療にはPPIという特効薬があり、困ることはほとんどありません。逆流性食道炎という診断にたどりつくまでに相当な時間がかかる人がいます。たとえば、「のどにエヘン虫がいり」という悩みの原因がわかるまで耳鼻科、呼吸器科、外科、内科など10軒くらいの医

す。PPIは胃酸が出るのを抑える最も強い薬で、胃潰瘍や十二指腸潰瘍の特効薬でもあります。逆流性食道炎は年をとるほど、そして肥満であるほど、背中が曲がって円背になればなるほど起こりやすい病気です。寝たきりになっても起こります。食べた後すぐ寝ると逆流します。普段の姿勢や食後の体位が大切です。治療は特効薬に頼るのでは

Dr. 和の町医者日記

「胃腸」シリーズ①

プロトンポンプ阻害薬（PPI）という特効薬を飲むと、うそのように症状が治まります。しかし、症状が治まった後も必ず一度は内視鏡検査を受けてください。本当に逆流性食道炎なのか、どの程度なのか、食道がんではないのかなどを確認する必要があります。

PPI 胃壁にある壁細胞からの胃酸の分泌を強力に抑える薬。現在、オメプラゾール、ラソプラゾール、ラベプラゾール、エソメプラゾールの4種類が保険適用となっている。エソメプラゾール以外はジェネリック医薬品も発売されている。

最近、食生活の欧米化に伴い増加しました。命にかかわるものではありませんが、生活の質（QOL）が損なわれる病気です。なかには「のどがイガイガする」とか「変な咳が続く」といった症状の方もいますので要注意です。とはいえ、内視鏡で食道を観察したとき、何の変化もみられない人が大半なのも、この病気の特徴です。裏を返せば、問たてば量を半分に減らす薬と、ずっと同じ容量を飲み続ける薬の両方あります。いずれも1回飲めば24時間効きま

ところで、ゴールデンウィーク（GW）明けの10日午後1時より、尼崎のアルカイックホール・オクトで「生と死を考える市民フォーラム」が開催されます。女優の木内みどりさんと私で「いのちの終わり」について講演、対談しますのでぜひ、お越しください。事前にFAX（06・6412・9396）で申し込んでください。近著「ばあちゃん、介護施設を間違えたらもっとボケるぞー」は、発売2カ月で7刷り5万部を突破する大きな支持を頂きました。この場をお借りしてお礼を申し上げます。

わちんぱん